

教科シラバス（国語科）

科目名	文学国語	履修学年	履修単位	履修形態	授業形態
		2	2	必修	一斉
使用教科書・副教材・準備物					
新編 文学国語（大修館書店） 新訂版正しく読み・解くための力をつける現代文（数研出版）・漢字ボックス（浜島書店）					
科目の概要			学習目標		
<p>国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。</p>			<p>1 文学的な文章に親しみ、深く共感したり豊かに想像したりする経験を通して、創造的に考える力や他者との関わりの中で伝え合う力を高める。</p> <p>2 言葉が持つ価値への認識を深め、生涯にわたって読書に親しみ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>		
年間学習プログラム					
	学習内容	学習のねらい			
1学期	<ul style="list-style-type: none"> ・明日をひらく ・小説を楽しむ（一） ・言葉でスケッチ 	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の考えと比較しながら、自分の生き方について考えを深める。 ・場面の設定の仕方を通して登場人物の心情を考える。 ・ものの魅力を伝える言葉を探し、語彙を豊かにする。 			
2学期	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の世界 1 ・社会と文学 ・名作を読む（一） 	<ul style="list-style-type: none"> ・話の面白さと教訓を捉える。 ・多様な職業や働き方を知り、社会と自分の関わり方について考える。 ・登場人物の生き方から、自分自身の生き方に関する考えを深める。 			
3学期	<ul style="list-style-type: none"> ・明日をひらく ・詩を味わう ・思いを言葉に 	<ul style="list-style-type: none"> ・自身の「外側」と「内側」の関係について考える。 ・詩に表された作者の心情を読み味わう。 ・読み手と自分の関係に注意して、相手に応じた内容や表現を工夫して書く。 			
評価の観点及び内容					
知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通してその特質を理解し、適切に使うことができているか。				
思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしているか。				
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉感覚を磨こうとしたり、言葉を効果的に使おうとしているか。				
評価方法及びその他留意事項					
定期考査を主として、各種テスト、学習態度、課題等の提出状況を点数化し、上記3つの観点から総合的に評価する。なお、提出物は期限厳守で確実にし、授業には積極的に参加すること。					